

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(特定公下)維持管理事業			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 下水道課		電話番号(内線): 982-1111(内586)	
記入者情報	所属長: 泉 仁		担当責任者: 高井 保雅	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	1.中山町浄化センターの管理運営			
根拠法令等	下水道法、水質汚濁防止法、伊予市特定環境保全公共下水道条例			
事業の目的	1.適切な維持管理運営により、施設の機能維持と延命化を図る。2.水処理及び汚泥処理を適切に行うとともに放流水質の安定を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。			
事業の内容	平成11年6月、供用を開始した中山町浄化センター(処理能力:495m3/日・処理方式:オキシデーションディッチ法)の維持管理運営			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	計画的に施設整備を行い、放流水質の安定を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	25,061	28,163	6,086	22,870
	人件費	1,599	1,627	813	1,627
	合計	0	29,790	6,899	24,497
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,599	1,627	813	1,627
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	26,660	29,790	6,899	24,497
	一般財源	0	0	0	0

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
施設の維持管理運営	千円	25061	28163	6086	22870
汚水処理量	m3	103276	103000	51306	100006
流入水の監視強化による放流水質の安定化(監視及び啓蒙活動)	回	12	12	6	12

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	21,300	21,900	22,000	22,200	0	87,400

成果指標				
成果指標	BOD除去率(%)=(流入水BOD値-処理水BOD値)÷流入水BOD値×100及び汚水処理コスト(円/m3・人件費除く。)			
指標設定の考え方	安定した放流水質(BOD除去率90%以上)を確保するとともに、汚水処理コスト(汚水m3当たり)を年度比較し、処理能力を最大限に発揮できるよう施設の効率的な運営(維持管理)に努める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目標	90%以上	90%以上	0	0
実績	99.1%(258円/m3)	98.8%(229円/m3)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の計画的な維持管理を行い、放流水質の安定化を図った。また、経年劣化による設備の維持修繕を行った。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	適切な維持管理を行い放流水質の安定化が図れている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題